

令和 5 年 6 月 15 日現在

機関番号：34417
研究種目：基盤研究(C) (一般)
研究期間：2017～2022
課題番号：17K12076
研究課題名(和文) communionを基盤とした看護プログラムの開発

研究課題名(英文) Developing nursing programs based on communion

研究代表者

山下 裕紀 (YAMASHITA, Yuki)

関西医科大学・看護学部・准教授

研究者番号：40326319

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：看護におけるcommunion(交感)は「エネルギーをもった場の患者-看護師双方が感情-意思-体験を交わり、共有していること」と定義されている(山下, 2018)。communionの7つのボタンは看護のプロセスを俯瞰するツールとして利用可能であるか、そして脳卒中失語症患者・高次脳機能障害患者に関わる医療や教育現場において有用であるか、関西医科大学医学倫理審査委員会の承認を得て、2019年7月～2020年3月に「看護におけるcommunion(交感)の構造検証-専門家会議による検証-」、2022年7月～2023年3月「看護におけるcommunion(交感)の構造検証-参加観察研究」を実施した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

看護におけるcommunionを構造化・可視化し検証することは、患者と看護師とのあいだにある暗黙的な看護現象を説明し予測することを可能にし、普遍的なケアに内在された看護の知を形式知とすることにつながる。また、患者-看護師間のやり取りを看護のプロセスに沿って俯瞰することを可能にし、暗黙的な看護実践の言語化や技術修得に役立つのではないかと考える。

研究成果の概要(英文)：Communion in nursing is defined as “the exchange and sharing of emotions, intentions, and experiences between patients and nurses in an energetic environment” (Yamashita, 2018). Kansai Medical University Medical Ethics Review Committee With the approval of the Association, from July 2019 to March 2020, “Verification of the structure of communion in nursing - verification by an expert meeting -”, July 2022 to March 2023, “Verification of the structure of communion in nursing - A Participatory Observational Study” was conducted.

研究分野：看護学

キーワード：脳卒中 失語症 看護

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

communion とは、北欧の看護理論で開発されたケア現象を表す概念であり、患者との暗黙的・潜在的な看護実践を含む、そのやりとりに関する概念である。これまでに報告者は、失語症者の communion (双方のあいだで感情・意思・体験が交わされ共有されていること)について、既にある看護理論とフィールドワーク結果を基に、理論的経験的構造を明らかにした(山下, 2018)。これにより、形而上学的・暗黙的現象である communion を構造化・可視化し、日本で初めて学術的に紹介した(山下, 2018)。看護における communion を構造化・可視化することは、患者と看護師とのあいだにある暗黙的な看護現象を説明し予測することを可能にし、普遍的なケアに内在された看護の知を形式知とすることにつながる。しかし本構造は 1 施設の研究参加者(失語症者とその担当看護師)5 組を対象とした質的研究であり、更なるデータを基に本構造の妥当性を検証し洗練する必要があるため、下記 2 研究を計画した。

2. 研究の目的

1) 研究 1

本研究の目的は、看護における communion(交感)の構造について、専門家会議により、内容妥当性と経験妥当性、実践適用可能性について検証することである。

2) 研究 2

本研究の目的は、脳卒中失語症患者とその受け持ち看護師のやりとりを研究者が観察・記述・録画・分析した内容について、脳卒中リハビリテーション看護の熟練看護師へのインタビューを通し、脳卒中失語症患者と看護師とのあいだにある communion の構造の妥当性を検証することである。

3. 研究の方法

1) 研究 1

- ・データ収集期間：2019 年 7 月～2020 年 3 月
- ・研究参加看護師：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 10 名
- ・データ収集方法

「現在大阪府内で勤務している脳卒中看護認定看護師と認知症看護認定看護師」を公益社団法人日本看護協会のホームページ上のリストから抽出し、研究協力の意向に関して、メールあるいは郵送にて回答してもらい、研究協力の意向が得られた対象者の移動距離や都合に合わせて 4～5 名 1 組のグループを複数構成し、専門家会議の日程を決定した。専門家会議は、「説明、映像資料試聴、グループインタビュー」で構成し、休憩等も含め各グループ 1 回 120 分以内とした。専門家会議では、研究者がファシリテーターとなり、本研究の説明を行った後、映像資料を対象者に視聴してもらい、調査項目に関するグループインタビューを実施した。

2) 研究 2

- ・データ収集期間：2022 年 7 月～2023 年 3 月
- ・研究参加看護師 A：3 名、研究参加看護師 B：2 名
- ・データ収集方法

場面記述・撮影録画データ

研究者(山下)が、主に日勤帯に、各病棟で研究参加看護師 A が研究参加患者のもとへ訪れてから去るまでの場面を参加観察・場面記述し、録画は小型のビデオカメラを用いて、研究者が手動で実施した。

インタビュー録音データ

研究者(山下)が、参加観察の 1 場面終了毎に、かかわり終了した直後など、時間を空けずに研究参加看護師 A へのインフォーマルインタビューを病室外で実施した。

参加観察データを研究者分析した内容について、分析が集積した段階で別の研究参加看護師 B へのフォーマルインタビューを守秘できる個室で実施した。

観察項目とその実施方法

研究者(山下)が、研究参加看護師 A と研究参加患者とのやりとりを参加観察・場面観察・録画撮影・インフォーマルインタビューした内容を分析した後、別の研究参加看護師 B にその録画データとともに分析の妥当性についてフォーマルインタビューを行った。

録画撮影における観察項目とその実施方法

参加観察は、挨拶・検温・食事・移動・移送・清潔・ベッドサイドケアなどが主であった。プライバシーへの配慮が必要とされる場面(清潔のケアや排泄のケアなど)は実施しなかった。撮影は、研究参加看護師 A と研究参加患者の身体表現に関する把握を厳密にできるように、双方の身体活用のプロセスに焦点をあてた。

5～20 分の場面観察を 1～3 回/日を 4～8 日(計最大 480 分)実施した。ただし、参加観察の各観察場面の所要時間は、場面の援助や業務状況に影響し変動した。

- ・分析方法：質的記述的分析

4. 研究成果

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 山下裕紀	4. 巻 52(1)
2. 論文標題 communion(交感)という概念の可能性 看護実践の暗黙知を明らかにする試み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 看護研究	6. 最初と最後の頁 48-58
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件/うち国際学会 0件）

1. 発表者名 山下裕紀, 正木治恵
2. 発表標題 脳卒中失語症患者と看護師とのあいだにあるcommunionの成立-「触れる-触れられる」場面の分析報告-
3. 学会等名 第23回千葉看護学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山下裕紀
2. 発表標題 脳卒中失語症患者への看護に関する和文献の検討
3. 学会等名 第13回ヒューマンケア研究学会学術集会
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 山下裕紀	4. 発行年 2018年
2. 出版社 風間書房	5. 総ページ数 155
3. 書名 看護におけるcommunionの構造化	

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	登喜 和江 (TOKI Kazue) (00326315)	千里金蘭大学・看護学部・教授 (34439)	
研究分担者	石橋 みゆき (ISHIBASHI Miyuki) (40375853)	千葉大学・大学院看護学研究院・准教授 (12501)	
研究分担者	正木 治恵 (MASAKI Harue) (90190339)	千葉大学・大学院看護学研究院・教授 (12501)	
研究分担者	高橋 良幸 (TAKAHASHI Yoshiyuki) (30400815)	千葉大学・大学院看護学研究科・助教 (12501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------